



梅澤幹太さん



田邊友唯さん



岡村颯太さん

学生日本一のメダル獲得!

6月から9月にかけて、学生の日本一を決める大会が各地で開催され、本学の学生の快進撃が繰り広げられました。今回は陸上競技部、体操競技部、自転車競技部を紹介します。



中西美央さん



津村涼太さん



大園倫太郎さん

羽ばたけ 大空へ

蒼天

新財団新聞

編集：鹿屋体育大学
発行：公益財団法人鹿屋体育大学
体育・スポーツ振興教育財団
編集責任者：鹿屋体育大学長
発行人（発行責任者）：財団理事長 風呂井 敬
財団事務局：〒891-2393 鹿屋市白水町1番地内 0994-46-4827(直)

2024 日本学生陸上競技個人選手権大会 優勝

男子800m
男子3000mSC

日本学生陸上競技連盟主催、学生の個人日本一を決める「2024日本学生陸上競技個人選手権大会」(6月14〜16日、神戸・レモンスタジアム平塚)で、陸上競技部の岡村颯太さん(スポーツ)

総合課程2年、致遠館高等学校・佐賀)が男子800m、大園倫太郎さん(同4年、鹿児島中央高等学校・鹿児島)が男子3000mSCで優勝しました。本大会で本学から優勝者が出たのは、2022年から3年連続の快挙となりました。岡村さんは「今回の優勝は自分だけの力ではなく、家族、先生、チームメイトの力があってのことだと思います。たくさん

「第78回全日本学生陸上競技選手権大会」(8月23〜26日、鹿児島・西原商会アリーナ)で体操競技部の田邊友唯さん(同4年、高崎工業高等学校・群馬)が本学体操競技部初の男子個人総合1位に輝きました。これまでの優勝者には、オリンピックのメダリストが名を連ねています。この大会までキャプテンを務めていた田邊さんは男子個人総合優勝について「今回は団体の優勝がどうしてもほしくて、自分を追い込むぐらいに練習を重ねて当日を迎えたので、個人総合のことは考えていませんでした。正直まさか日本一になれるとは思っていません。個人総合1位とわかったときは、ありえないと思ってその日は実感がわきませんでした。周りからはオリンピックに行くしかないねと言われますが、これからは自分らしく頑張りたいです」と笑顔で話してくれました。

津村涼太さん(同4年、鹿屋高等学校・三重)は男子種目のあん馬で2年連続の優勝を飾りました。津村さんからは「今回、団体2位、あん馬優勝という成績を残すことができました。地元開催ということもあり、多くの方に応援していただきとても力になりました。次の試合は全日本体操選手権と種目別選手権になります。この大会で初めあん馬優勝に向けて頑張ります」とコメントしました。

第79回全日本大学対抗選手権自転車競技大会 優勝

男子オムニアム
女子スプリント

第79回全日本大学対抗選手権自転車競技大会(8月23〜25日、千葉JPFドーム)で、自転車競技部の梅澤幹太さん(同2年、松山工業高等学校・愛媛)が男子オムニアム、中西美央さん(同4年、岡山高等学校・岡山)が女子スプリントで優勝しました。

梅澤さんは「シーズン序盤では体調を崩すこともありましたが、1年間練習を積み重ね、今回優勝をすることができて本当にうれしく思います。監督、チームの仲間、スポンサー、家族、その他大勢の支えがあったからこそつなぐことができました。優勝だと感じました。ここで満足せず、さらなるレベルアップを目指して精進していきたいと思っています。中西さんは「目標としていた三冠は果たせませんでした。が、大学のウェアを着て走る最後の大会で優勝することができてうれしです。4年間全力で駆け抜けた大学競技生活をしていきたい。(M・S)

スポーツを愛する人たちへ

(公財)ミズノスポーツ振興財団は「日本国のスポーツの振興に必要な事業を行い、さらなる国民の心身の健全な発達に資する」を目的とし、その活動は50年以上にわたります。具体的には、スポーツの普及振興やスポーツの国際交流の発展に対する助成、スポーツに関する科学的・学術的・医学的研究に対する助成、優秀なスポーツ指導者やスポーツライターを顕彰する事業などを行っており、その助成累計額は約86億円に及びます。

「わかくさ」

鹿屋体育大学のイメージが変わりました！と聞く機会が多々ある。体育やスポーツという言葉は、トップアスリートの出身大学という認識で、競技力が高いという印象が強かった。ニュースや新聞のスポーツ欄で、普段から競技結果を目にしていたことも余計にそう思った理由かもしれない。大学の日常に慣れてみると、そのイメージは合っているようで少し違っていたのだと感じる。スポーツは他の分野と相性がよく、アプローチ次第で多岐にわたるのだと分かってからは、単に「競技」と結びつけたイメージだけ先行してしまうのは、実際と合っていない気がしている。▼実際のイメージにどうやって近づけられるのかは悩ましい限りだが、百聞は一見に如かずで、実際に大学に来てもらうのが一番分かりやすいと思う。夏休みの時期は、オンラインキャンプや公開講座、サイエンスキャンプなどのイベントが盛り沢山で、参加された方にとっては良い意味でイメージが変わるきっかけになったのではないかと。また、3年ほど前から「NIFS学生広報スタッフ」の学生さんも大学広報を担当して、イメージのブレは少しずつ払拭されつつあると思う。今後も地道に発信をしながら、イメージの変わるきっかけづくりをしていきたい。(M・S)

Mizuno

公益財団法人
ミズノスポーツ振興財団

卒業生 Interview

元Jリーガー
株式会社WithYou
代表取締役

17期生
中村 亮さん



【Profile】

なかむら・りょう。1981（昭和56）年8月13日、兵庫県神戸市生まれ。滝川第二高校から鹿屋体育大学体育学部体育・スポーツ課程に進学。2004年3月卒業。同年、Jリーグ・FC東京に入団。2005年シーズン終了後に引退。中学校教員、モデルなどの芸能活動を経て渡米。現在、スポーツ留学をサポートする株式会社WithYou 代表取締役。

卒業生をインタビューしている、今のスポーツ界の現状がとてつもなくわかることがある。今回もそんな最前線で活躍するOBを紹介する。

43歳になる中村亮さんは一年の半分は日本にいない。米国のニューヨークとロスに事務所を構え、高校生をスポーツ推薦で米国の大学に入学させている。この仕事を始めた時、日本には同業者は全くいなかった。彼の発案で始めたビジネスモデルだった。

中村亮と聞いて、アツと思いだした人もいるだろう。神戸の滝川第二高校から鹿屋体育大学に進み、卒業後はFC東京に入ったJリーガーだ。自分では遅咲きの選手で、鹿屋体育大学で育ててもらったという。185センチの身長、利き足は左、抜群の身体能力とスピードが持ち味で、当時のサッカー部の井上尚武監督は1年生の時からレギュラーで使った。大学屈指のサイドバックとして注目を集め、4年生の時にはユ

ニバーシアード日本代表にもなっている。教員だった両親の背中を見て育ったことで、教師になるのが当たり前と思いつつも、心の片隅でプロになりたいという夢を抱きながらの大学生活だった。

JリーグのFC東京からオファーを受け、晴れてプロ選手となるが、入団2カ月後に右ひざの大怪我をする。膝のすべての靱帯が切れて逆方向に90度以上曲がり、足が前腿のところにでくるほどの怪我だった。ただひたすら続くリハビリ、プロとして役に立っていないという焦り、活躍するイメージが全く持てないまま、2年目にプロと決別する決断をする。

リアサポートの仕事をしていて、紹介されたのは横浜にある中学校の職だった。プロ生活が悶々と悩みながらだったせいもあるが、それはとても充実した楽しい時間だった。ただ、プロ選手として世の中を知ってしまった中村さんには、若い世代の夢を支えるために、何か違う形で若者と関わる方法があるのではないかと、この思いがずっと回っている。結局、教員は1年でやめることになった。

神戸在住で14歳の時に阪神淡路大震災を経験し、いつか起こるかわからない人生で、夢を追いかけることの大切さを心底感じていたのかもしれない。さらに、中学時代に1年間、ブラジルのジロコサッカースクールの留学したのも影響していたのだろ

う。海外に行くことには抵抗はなかった。一念発起し28歳で渡米を決意する。語学学校では英語は習得しきれないと判断してロサンゼルスの大

学に入学。サッカー部の友人ができたことから驚きの発見をすることになる。選手たちの恵まれた待遇や授業サポートの充実ぶりは日本の比ではない。NCAAのスポーツがいかにか日本と異なるものかを知るの。そこでひらめいたのが新しいビジネスだった。

サッカーをしてきた高校生をスポーツ推薦で米国の大学に勧誘するという仕事だ。2013年にニューヨークでWithYouという法人を立ち上げ、最初は一般の留学のサポートをしながら、アメリカ人を縦断横断して大学を訪ね、どんな選手が欲しいのかを聞いて回った。そして、その大学に最も合う選手を送り込むようになったのが2016年からのことだ。ベストフット

の選手をスポーツ推薦で入学させることで大学からの信頼も得られ、今年は150名を入学させている。

中村さんが常々口にすることは、スポーツだけじゃダメと言う言葉だ。最近留学を希望する若者にも変化が出てきて、スポーツと勉強を両立させて卒業したいという希望者が増えてきている。

中村さんが世話をするのは入学だけではなく、卒業後、米国でドラフトのオファーをうけるプロになる選手もいれば、欧州や南米でプロを

目指すものもある。その国に強い代理人を紹介し、彼らが進む道の地な

らしをしていく。もちろん、プロを目指す者には一般の企業への転職も行う。最近女子の留学も増え、男子7割、女子3割ほどになっているそうだ。女子は米国の大学で活躍できる可能性が高いので、大学側からのリクエストも多いと聞く。

若者が夢を追いかけることを応援する、それを自らのミッションとして新規ビジネスに挑んでいる中村さんと話をしながら、ふと思いついた。パリオリンピックに出場した選手の中にも、日本の大学を選ばずに米国留学を決めた者がいた。まさに今スポーツ界に吹き荒れているトレンドのど真ん中の中村さんは仕事をしているのだ。

（スポーツ文化ジャーナリスト 宮嶋泰子）

垂水市との連携協議会を開催しました！



9月26日に垂水市市民館で、令和6年度国立大学法人鹿屋体育大学と垂水市との連携協議会が開催されました。本協議会は、相互の人的・知的資源の交流・活用を図り、緊密な連携・協力の構築を目的とした連携協定に基づき、毎年度実施されています。

協議会の冒頭で尾脇雅弥垂水市長が、芝原叶妃選手（鹿屋中央高等学校2年）のSUPの世界選手権での活躍や、住民主体の通いの場づくり、垂水市への移住・定住者への雇用創出の取組に触れ、地域づくりや地域活性化への期待を述べました。また、金久博

昭学長からは、今年度4月から就任した新しい理事の紹介があり、連携協議会が機能していくこと、今後より一層の連携を深めていきたいとの挨拶がありました。

協議会の議題としては、介護予防事業及び教育現場における連携や、マリナパークたるみずの活用状況等について報告がありました。また、本学学生の垂水市の小中学校の体育授業での実技実演・指導の実施や、フェンシング競技の選手への本学での

測定の実施等について、活発な意見交換が行われました。

今後、垂水市のさらなる発展と鹿屋体育大学との連携が期待されます。



7月16日から18日の3日間、東京ビッグサイトで開催された日本最大のスポーツ・フィットネス・健康産業展示会「SPORT EC2024」に今年もブースを出展しました。

た。スポーツと健康分野における日本の成長産業の一つとして、出展者と来場者のビジネス拡大や最新情報の発信を目的とした「SPORT EC2024」は、スポーツ

は、積極的な産学官連携活動の広報を通じて、本学の研究者が企業の方々と話し合う場面も多く見られ、今後のさらなる連携が期待できそうです。

まっすぐに。正直に。

大波酒造株式会社

〒893-0016
鹿児島県鹿屋市白崎町21番1号
電話(0994)44-2190 FAX(0994)40-0950

- 飲酒は20歳になってから。
- 飲酒は楽しく、適量を。
- 妊娠中、授乳期の飲酒はお控え下さい。
- 飲酒運転は法律で禁止されています。

Kubota 農業機械

株式会社 **三木商会**

http://www.mizuho.kubota.ne.jp

〒893-0009
鹿児島県鹿屋市大手町12番1号
TEL (0994) 43-4178
FAX (0994) 44-9371

【営業所】
鹿屋・高山・志布志・岩川・
牧之原・野方・垂水・大根占

汲取の御注文
浄化槽の管理

N

水質安全に
全力投球

鹿屋市許 株式会社 **西日本浄化サービス**
代表取締役 田中ふみ子
鹿屋市王子町4531-2
TEL (0994) 43-3425

あなたの町に、レモンガス

株式会社**レモンガス**がこしま
鹿屋支店

鹿屋市大浦町11423番地1
0994-42-2181



ロアッソ熊本

渡邊 怜歩さん

2025シーズン 2名加入内定!

いわきFC

加藤 大晟さん

本学サッカー部から2025シーズンJリーグへの加入が2名内定しました。

ロアッソ熊本(J2)に内定したのは、渡邊怜歩さん(わたなべ りんぷ)です。ポーツ総合課程4年、静岡学園高校・静岡です。渡邊さんは本学サッカー部のキャプテンを務め、華麗なテクニックを駆使し、チームの柱としてけん引してきました。渡邊さんは今回の内定について「幼いころからの夢であったプロサッカー選手になることができて、大変うれしく思います。これまで支えてくださった方々への感謝の気持ちを忘れず、今まで以上に強い覚悟を持ち、ひた向きに努力を重ね、1日でも早くチームの勝利に貢献できるよう頑張ります。ロアッソ熊本のファン、サポーターの皆さま、応援よろしくお願ひします。また、引き続き鹿屋体育大学サッカー部の応援もよろしくお願ひします」とコメントしました。

いわきFC(J2)に内定したのは、加藤大晟さん(かとう だいせい)です。同4年、浜松開誠館高等学校・静岡、奈良出身です。7月30日付で「2024年JFA・Jリーグ特別指定選手」の認定を受けることも発表され、いわきFCの背番号「36」としてすでに活躍しています。加藤さんは2024年3月にDENSO CUP大学日韓定期戦の全日本大学選抜メンバーに選出されており、強靱なフィジカルを武器に、前線の起点、ドリブル突破、得点力に優れた鹿屋のエースです。加藤さんは今回の内定について「幼いころからの夢であったプロサッカー選手になることができて、大変うれしく思います。これまで育ててくれた家族、指導者、関わってくださったすべての方々に感謝の気持ちを忘れず、これからも全力で戦います」とコメントしました。本学出身のJリーガーは通算48人になりました。

【塩川勝行監督のコメント】
渡邊君は技術的レベルの高い静岡学園高校サッカー部の出身で、彼自身も高度のテクニックや突破力があり、ゴールにつながる決定的なラストパスも出せる選手です。もともと力はありませんでしたが、大学に入ってハードワークをこなすことでさらに戦える選手に成長しました。今年はキャプテンも務めてもらいました。今後も本人の特徴を生かしながら、ロアッソ熊本に貢献できるよう活躍してほしいです。

加藤君は身体能力が高く、なかでも体幹の強さには天賦の才を持っていると感じます。フィジカルを生かしたボールキープや、ボールを持った時の推進力、突破力が魅力の選手です。特別指定選手としてすでにJリーグの試合にも何度か出ており、途中出場ながら彼が入って流れが変わり、いわきFCの勝利につながったと感じた試合を見るのができました。引き続き、いわきFCでの活躍を期待しています。

渡邊君、加藤君共に、最終的には日本を代表する選手になってほしいですね。

なぎなた部

こんにちは。鹿屋体育大学なぎなた部です。私たちがなぎなた部は、1年生3名、2年生2名、3年生2名、4年生3名の計10名で活動しております。現在、なぎなた経験者の指導者はいませんが、部員10名で金曜日と日曜日を除く週に5回稽古をし、稽古内容や遠征の計画等も学生主体で行い、各県から集まる部員全員の意見を出し合いながら競技力向上に向け、日々の稽古に励んでいます。

8月に福島県で開催された「第63回全日本学生なぎなた選手権大会」では、演技競技で3位、試合競技団体の部では準優勝、個人試合の部では3位という結果を収めることができました。11月には大阪府で「第49回西日本学生なぎなた選手権大会」が開催されます。全日本学生なぎなた選手権大会では悔しい結果に終わってしまったので、西日本学生なぎなた選手権大会では、全員が満足のいく結果になるよう、これからも稽古に精進してまいります。

また、毎年12月に鹿屋体育大学OG・OBが主催する「桜鹿杯」があります。小学生から大人まで幅広い年代でチームを組み、演技競技と団体試合を行います。今年から鹿屋市と協力し、開催することが決定いたしました。一般の方もご覧できますので、ぜひお越しください。

今後とも、鹿屋体育大学なぎなた部をよろしくお願いいたします。

あの人々

この度、7月1日付で経営戦略課会計室出納係に着任した上原と申します。

6月までは鹿児島大学で勤務しており、このたび鹿屋体育大学でお世話になります。経歴としては、契約に関する業務等、会計系の仕事に携わることが多かったです。本学でも会計に関する業務に従事することになるため、これまでの経験を生かして日々邁進していく所存であります。

プライベートでは健康のことを考え、ここ最近では体を動かす機会を増やしているところです。鹿屋体育大学は日本でも唯一の体育系単科大学という点で、このたび広報係に着任いたしました。

鹿屋島高専より7月1日付でまいりました、梅木駿一と申します。高専では図書館の運営及び情報セキュリティ関係業務等に携わっておりまして、このたび広報係に着任いたしました。

鹿屋島高専より7月1日付でまいりました、梅木駿一と申します。高専では図書館の運営及び情報セキュリティ関係業務等に携わっておりまして、このたび広報係に着任いたしました。

この度、運動に関しては正に専門の大学であると思えます。そのため、在籍期間中は業務を覚えていくことはもちろんのこと、運動に関する知識も学ぶ機会を得られたらと考えております。

私は自宅のある鹿児島市から通勤しておりますが、それ以外で大隅半島に行くことはあまりありませんので、この機会に鹿屋の地を体感できるようにしていきたいです。

今後ともよろしくお願ひいたします。

この度の転入に伴って、初めての一人暮らしとなり最初は不安等もありましたが、次第に慣れいていくような気がします。(1番の課題は日々の食事です)。

社会人経験3年目での転入で経験も浅く、鹿屋体育大学にどれだけの貢献できるかわかりませんが、できる限り本学の皆さまのお力になれるよう努めたいと思います。これからどうぞよろしくお願いいたします。

「視覚」「触覚」が「記憶」に残る

SUGO HAKU

【厚盛デジタル加飾システム】-KIRAMEKI-

印刷物へ新たな付加価値を
厚盛クリアニスの上に箔を加飾させることで、盛り上がった立体的な箔加工が可能になりました。従来の箔押しと一線を画したグラマラス感のある仕上がり。

パッケージ・パンフレット・ポスターetc.に、ご利用いただけます。

厚盛デジタル加飾により盛り上がった箔加工

厚盛クリアニスによるリアルなテクスチャー感

お気軽にお問い合わせください。

株式会社新生社印刷

鹿児島県鹿屋市礼元1丁目22-34

TEL 0994-43-2238

URL <http://www.shinsei-p.co.jp> E-MAIL kan@shinsei-p.co.jp

寿自動車学校

心豊かな車社会を願う

★その日のスケジュールに合わせて1時間おきにダイレクト送迎
忙しい学校生活の強い味方です!!

★提携会社による分割払いも月々5000円からご利用になれます

運転免許のことなら

TEL 0994-43-2627 E-mail: info@kotobuki-ds.jp

〒893-0013 鹿児島県鹿屋市礼元1-13-30
ホームページURL <http://kotobuki-ds.jp>

公安委員会指定教習所[技能試験免除]

すべての消費者のために!!

MOVE

It's your future

寿スポーツ

鹿児島県鹿屋市新川町603-2
TEL 0994-44-2123

闘いの記録 (令和6年8月～9月)

【陸上競技部】

■第78回中国陸上競技選手権大会

(8/17～18 島根/島根県立浜山公園陸上競技場)

▽女子 800m 1位 渡部 鈴夏

■天皇賜盃第93回日本学生陸上競技対校選手権大会

(9/19～22 神奈川/Uvanceとどろきスタジアム by Fujitsu)

▽男子 800m 6位 佐藤 主理

▽男子 3000SC 4位 大園 倫太郎

▽女子 走高跳 5位 芹川 晃希

▽女子 800m 6位 渡部 鈴夏

▽女子 円盤投 8位 廣井 楓

▽女子 やり投 5位 平松 委穂里

■第52回九州学生陸上競技選手権大会

(9/27～29 福岡/久留米総合スポーツセンター陸上競技場)

▽男子 棒高跳 1位 小崎 律稀

【テニス部】

■令和6年度九州学生夏季テニス選手権大会 (8/15～26 福岡/グローバルアリーナ他)

▽男子 ダブルス 1位 太田、鳥井

▽女子 ダブルス 1位 山本、渡邊

■令和6年度全日本大学対抗テニス王座決定試合九州地区予選

(9/5～11 鹿児島/鴨池テニスコート)

▽男子 1位 鹿屋体育大学

▽女子 1位 鹿屋体育大学

【体操競技部】

■第78回全日本学生体操競技選手権大会

(8/22～26 鹿児島/西原商會アリーナ)

▽男子 個人総合 1位 田邊 友唯

種目別あん馬 5位 津村 涼太

種目別ゆか 4位 田邊 友唯

種目別平行棒 6位 津村 涼太

団体総合 2位 鹿屋体育大学

■第2回男子スーパースペシャル選手権大会

(9/16 東京/アリーナ立川立飛)

▽男子 種目別あん馬 2位 津村 涼太

【水泳部】

■第71回全国国公立大学選手権水泳競技大会

(8/10～11 滋賀/インフロンピア草津アクアティクスセンター)

▽男子 50m自由形 1位 市村 優弥

100m自由形 1位 市村 優弥

100m平泳ぎ 6位 横山 菜優

100mバタフライ 5位 池嶋 勇人

200m自由形 5位 萬燈 祐仁

200m自由形 1位 水上 瑠日

200m自由形 4位 坂本 春空

200m背泳ぎ 5位 中園 剛志

200m平泳ぎ 5位 池田 匡佑

200mバタフライ 2位 久保田 心愛

200mバタフライ 5位 大西 志庵

200m個人メドレー 1位 杉浦 涼一

400m自由形 3位 大塚 心

400m自由形 1位 水上 瑠日

400m個人メドレー 5位 日栄 健太

400m個人メドレー 2位 杉浦 涼一

400m個人メドレー 3位 大塚 心

400mフリーリレー 1位 市村、横山、坂本、水上

400mメドレーリレー 2位 中園、大塚、横山、市村

800mフリーリレー 2位 坂本、日栄、岩切、水上

50m自由形 2位 久保田 梨琉

100m自由形 4位 仲田 葵

100m自由形 1位 久保田 梨琉

100m自由形 3位 池嶋 心春

100m背泳ぎ 4位 中野 帆波

100m平泳ぎ 5位 小松 千紗

100mバタフライ 7位 黒田 絢子

100mバタフライ 1位 後野 真衣

200m自由形 4位 仲田 由子

200m自由形 3位 津隈 中野

200m平泳ぎ 8位 中野 帆波

200m平泳ぎ 3位 小松 千紗

200mバタフライ 7位 宮崎 菜々子

200mバタフライ 1位 後野 真衣

200m個人メドレー 2位 瀬津 菜々美

200m個人メドレー 1位 宮崎 未優

200mフリーリレー 4位 宮崎 菜々子

200mフリーリレー 2位 仲田、有村、池崎、久保田

400m自由形 3位 瀬津 菜々美

400m個人メドレー 4位 岡 莉子

400m個人メドレー 1位 宮崎 未優

400m個人メドレー 2位 岡 莉子

400mフリーリレー 2位 久保田、宮崎(未)、有村、津隈

400mメドレーリレー 2位 中野、小松、後野、久保田

■第100回日本学生選手権水泳競技大会(9/5～8 東京/東京アクアティクスセンター)

▽男子 50m自由形 2位 市村 優弥

▽女子 50m自由形 2位 久保田 梨琉

▽男子 100m自由形 6位 久保田 梨琉

200mバタフライ 3位 後野 真衣

400m個人メドレー 8位 宮崎 未優

【柔道部】

■2024年度九州学生柔道体重別選手権大会 (男子67回/女子37回)

(8/17～18 福岡/福岡武道館)

▽男子 81kg級 1位 中村 絢

▽女子 48kg級 1位 平峯 夏鈴

■第64回全国国公立大学柔道優勝大会(9/15～16 東京/講道館)

▽男子 2位 鹿屋体育大学

▽女子 5人制 3位 鹿屋体育大学

【剣道部】

■令和6年度九州学生剣道優勝大会 (男子第71回/女子第47回)

(9/16 福岡/粕屋町総合体育館)

▽女子 1位 鹿屋体育大学

【ヨット部】

■2024年度全日本学生シングルハンドレグッタ

(9/6～8 愛知/豊田自動織機 海陽ヨットハーバー)

▽男子 ILCA6クラス 1位 池永 誇太郎

【漕艇部】

■第51回全日本大学ローイング選手権大会 (9/4～8 埼玉/戸田ボートコース)

▽女子 ダブルスカル 5位 清水、若狭

【自転車競技部】

■2024UCIジュニア世界選手権大会(トラック)(8/21～25 中国/鄭州)

▽男子 チームパシュート 10位 畑 祐太郎

※他団体選手と出場

■文部科学大臣杯第79回全日本大学対抗選手権自転車競技大会

(8/23～25、9/16 千葉/TIPSTAR DOME CHIBAほか)

▽男子 オムニウム 1位 梅澤 幹太

スプリント 8位 福永 隼人

タンデムスプリント 3位 香西、谷口

チームスプリント 7位 石田、香西、福永

4kmチームパシュート 2位 廣田、並江、梅澤、津留

30kmマディソン 2位 梅澤、並江

総合 4位 鹿屋体育大学

スプリント 1位 中西 美央

500mタイムトライアル 2位 中西 美央

チームスプリント 2位 年見 徳風

3kmインディビジュアルパシュート 4位 岩元 美佳

20kmマディソン 5位 岩元、淵

総合 8位 川本、加藤

2位 鹿屋体育大学

■第93回全日本自転車競技選手権大会トラックレース

(9/6～9 静岡/伊豆ベロドローム)

▽男子 エリート オムニウム 4位 梅澤 幹太

エリート エリミネーション 7位 廣田 汰也

エリート チームスプリント 4位 勝村、谷口、岩谷

エリート マディソン 4位 並江、梅澤

ジュニア スクラッチ 3位 祐太郎

ジュニア ポイント・レース 6位 畑 祐太郎

ジュニア 3km個人パシュート 7位 畑 祐太郎

エリート エリミネーション 7位 岩元 美佳

エリート ケイリン 6位 年見 徳風

エリート チームスプリント 1位 年見、岩元、加藤

エリート マディソン 4位 岩元、淵

ジュニア スプリント 5位 川本、加藤

加藤 明日香

ジュニア ケイリン 7位 加藤 明日香

【カヌー部】

■第60回関西学生カヌー選手権大会(8/8～12 兵庫/宍粟市音水湖カヌー競技場)

▽男子 C-1 200m 1位 久保田 桂仙

C-1 Relay 1位 久保田、中園、美坂、山城

K-1 200m 1位 松本 仁心

▽女子 WC-1 200m 1位 中道 綺華

WK-2 500m 1位 上田、植木

■2024FISU世界大学カヌー選手権大会

(8/21～24 ボルトガル/モンテモル＝オ＝ヴェーリョ)

▽男子 K-1 200m 11位 鳥越 天宮

K-4 500m 9位 鳥越 天宮

※他団体選手と出場

■第60回全日本学生カヌースプリント選手権大会

(8/27～9/1 石川/小松市木場潟カヌー競技場)

▽男子 C-1 200m 1位 久保田 桂仙

C-1 1000m 4位 中園 太陽

C-1 リレー 1位 美坂 優由

C-2 200m 1位 美坂 優由

C-2 1000m 6位 中園 太陽

C-2 200m 2位 中園、久保田、福島、美坂

C-2 1000m 5位 城島、山城

C-4 1000m 7位 久保田、中園

K-1 200m 5位 城島、山城

K-1 1000m 1位 美坂、福島、山城、中園

K-2 200m 1位 松本 仁心

K-2 1000m 3位 鳥越 天宮

K-2 200m 7位 行田 朋晃

K-2 1000m 1位 松本 仁心

K-2 200m 6位 鳥越 天宮

K-2 1000m 4位 村橋、上野

K-4 1000m 1位 村橋、河野

WC-1 200m 6位 鳥越、松本

WC-1 500m 2位 村橋、松本、行田、河野

WK-1 200m 3位 中道 綺華

WK-2 200m 6位 植木 春華

WK-2 500m 6位 鐘ヶ江、上田

WK-4 500m 3位 上田、植木

4位 植木、上田、鐘ヶ江、高岡

■令和6年度SUBARU日本カヌースプリント選手権大会

(9/10～15 石川/小松市木場潟カヌー競技場)

▽男子 C-1 200m 4位 久保田 桂仙

C-1 1000m 8位 美坂 優由

C-2 200m 4位 久保田、福島

C-2 500m 5位 中園 太陽

※他団体選手と出場

C-2 1000m 6位 松本 皐暉

C-2 200m 3位 武井 睦

C-2 500m 3位 武井 睦

C-2 1000m 2位 松本 仁心

C-2 200m 3位 河野、松本

C-2 500m 5位 大瀬 空

C-2 1000m 8位 中道 綺華

C-2 200m 4位 高岡 明音

C-2 500m 4位 福島 悠斗

※他団体選手と出場

5位 美坂 優由

※他団体選手と出場

【なぎなた部】

■第63回全日本学生なぎなた選手権大会 (8/11 福島/鶴ヶ城体育館)

▽女子 演技競技 3位 宮城、村田

試合競技 個人の部 3位 村田 凜

試合競技 団体の部 2位 鹿屋体育大学

【ウインドサーフィン部】

■第1回ウイングfoilオープンクラス全日本選手権

(9/6～8 和歌山/和歌山セーリングセンター)

▽男子 1位 穴見 賢太

【バーベル部】

■2024九州学生ボディビル選手権.physique championships

(9/8 福岡/もちパレス)

▽男子 ボディビル部門 1位 宮本 藍

令和6年度 学生広報支援員へ委嘱状

本学広報室では大学の広報活動へ、学生に参画してもらう学生広報支援員制度(NIFS学生スタッフ)をスタートさせて4年目になります。今年度は6月から活動を開始している芹川晃希さん(修士課程1年、鹿屋体育大学)、田邊海士さん(スポーツ総合課程3年、岡山県立宇野光南高等学校・岡山)の2名に、猪村篤広報室長(理事・副学長)から委嘱状が手渡されました。委嘱状では猪村室長から「もうすでに動画投稿も始まっており、活発に活動いただきありがとうございます。大学の認知度向上のために、ぜひ学生自線のアイデアで楽しく広報活動してください」とねぎらいと励ましの言葉



左から田邊さん、猪村広報室長、芹川さん

アルバータ大学パンダース(女子バレーボールチーム)が来学 Blue Winds presents 2024カレッジスポーツデイを開催!



左からキャロライン監督、金久学長、ジャスティンキャプテン

久学長に金久学長からパンダースのユニフォームが贈られました。

パンダースのユニフォームが贈られました。

パンダースのユニフォームが贈られました。